

笑顔燦燦



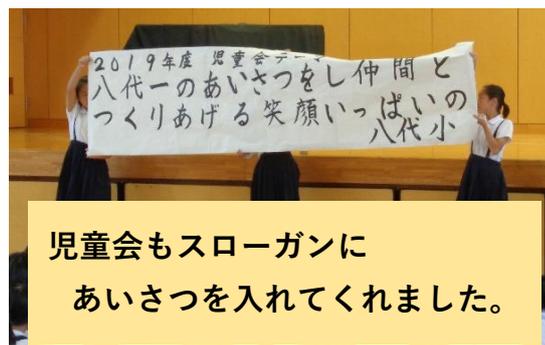
～やつしろスピリッツ～

愛言葉 「あいさつ・ききかた・そろえかた」

八代市の小・中学校では、「自分からすすんであいさつをする」「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」「靴のかかとを靴箱の手前のへりにそろえる」ことを、「やつしろスピリッツ」と位置づけ、すべての学校で教育の根本として取り組んでいます。

八代小学校でも、これまで伝統的に取り組んできました。ただここで気をつけたいのは、挨拶する人の数やかかをと揃える人が増えた減ったという表面的な取組にならないことです。それぞれの取組には、込められた願いや意味があります。自分から挨拶をすることは、相手の存在を認め、自分から扉を開くコミュニケーションの第一歩でもあります。しっかり話を聴くことは、大切なことを聞き逃さないためだけでなく、相手の存在を大切に思う心から生まれます。靴のかかをとそろえることは、そろえる行為の中で、自分の心を整えたり、時や場所を大切にすることの大切さに気づきます。

八代小学校では、やつしろスピリッツの意味を子どもたちとしっかり語り合いながら取組を進めていきたいと思えます。



地域とともに 学ぶ！ ～地域に支えられたクラブ活動～

小学校では、主に中学年以上の子どもたちが、それぞれ自分の興味や関心に合わせて活動する学習である「クラブ活動」があります。趣味的な要素も入り、自分の好きな内容を選択できるため、子どもたちにとっては楽しい学習です。

八代小学校でも年間5回の活動を計画していますが、八代小学校のクラブ活動は他の学校とは一味違います。八代小学校では、八代校区住民自治協議会の全面協力をいただき、すべての科目に地域の方を講師として招いています。子どもたちは、地域の方々の指導を受け、ともに活動するのです。本年度は、4、5、6年生が、「書道」「茶道」「華道」「手芸」「レクリエーション」「短歌」「料理」「ニュースポーツ」「将棋」「写真」の10のクラブで活動します。

子どもたちにとっては、本当にその活動を愛好されている方から、その活動の楽しさを直に学ぶことができます。また、学校の先生以外の方に親しく触れあえるのも魅力です。

講師でおいでの地域の方々にとっても、子どもたちとの触れ合いが、少しでも元気の源になってもらえればと願っているところです。



